

SC番号 : JTC1/SC34 規格番号 : ISO/IEC FDIS 19757-8 投票期限 : 2008-09-07
規格名称[英文] Information technology – Document Schema Definition Languages (DSDL) – Part 8: Document Semantics Renaming Language (DSRL)
規格名称[和文] 文書スキーマ定義言語(DSDL)-第8部: 文書意味再命名言語
規格案の概要 XML 文書に含まれる要素・属性の名前を変更するための変換テーブルを与える。また、省略時解釈値、実体の宣言、実体の名前変更も提供する。
回答案 [該当する項目に を記入すること] () 賛成 () 反対 () 棄権 コメント (賛成の場合は Correction のみ、反対の場合は必須) () なし () あり
回答案の理由 実体の定義機能及び再命名機能を取り除けという日本コメントが CD 投票でも FCD 投票でも受け入れられなかったため、適合する実装を作ることが必ずしも容易ではない規格になってしまった。しかし、ある XSLT 処理系・XML パーサを用いた場合に限っては、これらの機能も含めて実装可能なことが立証されているので、反対はしない。 コメントの主旨 [コメントがある場合]* 英文コメントはテンプレートに記載の上、添付すること
[該当する項目に を記入すること] WGへの対応 : 参画の有無 () 参加 () 不参加 最終CDへの対応 : () 賛成 () 反対 () 反対(条件付き) () 棄権 我が国からの提案 : () JIS(番号) () その他()
JISへの対応 [該当する項目に を記入すること] 1. 対応する JIS がない場合 JIS を制定する 必要がある () 必要はない () その他 () (理由) 今後の国内での利用動向を見定めたい。 2. 対応する JIS がある場合 (JIS 番号 _____) JIS を改正し国際規格と整合させる必要がある () JIS を改正する必要はない () (理由)
審議団体名 : (社) 情報処理学会 情報規格調査会 回答案作成者(又は回答案責任者)の氏名、所属 氏名 : 小町 祐史 所属 : 大阪工業大学

<参考> 制定する国際規格について次の設問にも回答して下さい。

この国際規格は国内でどの程度使用されるか、該当する()に 印をつける。

- (1) 国内で使用される ()
- (2) 国内では使用されない ()
- (3) 不明もしくはどちらともいえない ()

コメント(上記設問の回答に付すコメントがあれば):

特定の XSLT 実装を用いるという前提をつけるなら、利用は可能である。